

梅毒が増加しています！

若い世代の感染者が増えています

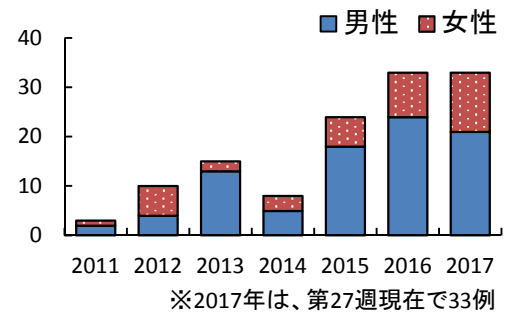
◆ 流行状況

- 近年、全国的に梅毒が増加しています。
- 群馬県も増加傾向にあり、今年の報告数が昨年1年間の報告数に並びました。
- 男女とも20歳代が最も多く報告されています。

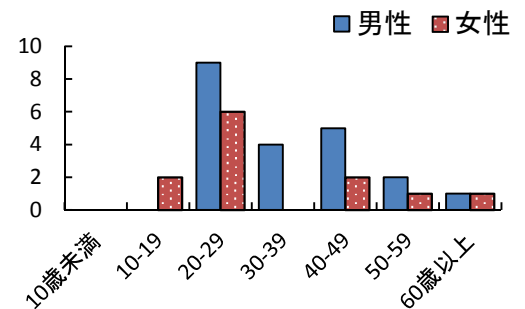
◆ どんな病気？

- 梅毒トレポネーマという病原菌による感染症です。
- 性的接触などで感染します。オーラルセックスやアナルセックスでも感染します。また、感染を繰り返すことがあります。
- 感染後3～6週間の潜伏期を経て、病期により様々な症状が出ます。
第1期：(約3週間後) 外陰部に豆大のしこりができる
第2期：(約3ヶ月後) 全身に赤い斑点ができる
潜伏期：それまでの症状が消え、無症状の期間
晩期：(数年後) 心臓、血管、脳、脊髄等への障害
- 早期治療で完治可能ですが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがあります。
- 妊婦が感染すると胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、奇形などの原因になります。

梅毒の報告数(群馬県)



年齢群別報告数(群馬県 2017年)



◆ 予防・対策は？

- 性行為のときは、必ずコンドームを使用しましょう(同性間でも必要です)。
- 不特定の人との性行為を避けましょう。
- 症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

保健所では性感染症の相談・検査を**無料・匿名**で行っています
保健所(県保健福祉事務所、市保健所)までお問合せください
なお、**検査は予約制**です

- ◆ 保健所には専用の相談室(個室)があり、専門スタッフが相談や検査に応じています。
- ◆ 検査では5mL程度採血します。
- ◆ 検査結果は原則翌週(HIVについては当日)、直接本人にお知らせします。
- ◆ あなたのプライバシーや秘密は完全に守られます。安心してお出かけください。
- ◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.gunma.jp/02/d2910001.html>